



国際文化政策研究教育学会 会員各位

「学会通信」第 1 号をお送りいたします。

国際文化政策研究教育学会 会長 挨拶

池上惇(京都大学名誉教授・瑞宝中受章・全国日本学士会アカデミア賞受賞者)

みなさま。

2021 年の春が、近づいて参りました。

冬、来たれば、春遠からじ。

本学会も、創設以来、「すべての市民を知識人に」、という高い目標を掲げ、ひたすらに、都市や地域の真実を発見する努力を重ね、よりよき、まちづくりや、地域再生、生涯学習・研究への道を拓いてまいりました。

この過程では、貴重な学術的成果が生み出され、とりわけ、各地における開拓者の存在と、各地の仕事や生活の営み、生活の質などの研究におきまして、注目すべき成果を上げて参りました。

また、各地の先覚による、開拓者精神と実行の研究は、文化的伝統の研究として、各地固有の意識構造、社会的なつながり、仕事や生活における技能や技術の蓄積など、従来は、民俗学や社会学の領域であった研究を、経済や経営の側面から、見直す結果となり、学術界における新たな潮流を生み出すことができました。

論文博士誕生への道を拓く

2020 年中には、念願であった、論文博士第一号が誕生し、博士論文を目指して、研究する場が誕生しました。これは、本学会の新たな段階への発展を意味しております。

現在、各地におきまして、論文博士を受理して審査していただける研究科との連携を模索しており、この方向が定まれば、本学会の重要性は、一層高まります。

すでに、修士論文相当の著作につきましては、『国際文化政策』誌への掲載が進んできましたが、今後、より多くの博士論文への挑戦者が誕生するであります。

ご参加いただきました、お一人お一人の学術へのご関心と、ご支援に支えられて、学術誌『国際文化政策』も、10 号を超える実績を生み出し、会員も、130 人を超えて、持続的な発展の道を歩んでおります。

各位のご支援に対しまして、心より感謝申し上げます。

各地の研究交流を日常化しましょう—震災復興支援の中から会員が誕生するなかで

これまで、本学会は、京都を中心とした、活動を行ってきましたが、2012 年以降、東日本大震災からの復興課題に取り組む中で、岩手県におきましても、本学会加入の動きがあり、地域におけるデザイン研究や、介護研究への道が拓かれつつあります。

現在、コロナ禍の影響が世界と日本全国に広がり、コロナ後の学会活動につきましても、関心が高まっております。

これまで、東京一極集中の超過密社会は、テレワークと、地方居住への関心が高まり、政府筋も、この方向に動き始め、各地の、文化・まちづくり・地域再生への関心は、かつてなく、高まっております。

本学会は、今後、各地、学会加入者の交流機会を、ネット上や、池上会長とのメール便など、あるいは、郵便を用いた交流を深め、お一人お一人の論文や研究を支援する道を拓いて参ります。

学会の運営にあたりましては、富澤会員が中心となり交流の基盤を構築していただけることとなりました。何卒、よろしく、お願い申し上げます(2021 年 2 月 7 日)。

学会トピックス

① 池上惇先生が令和 2 年度アカデミア賞を受賞。

本学会会長、池上惇先生が、アカデミア賞を受賞されることになりました。心よりお祝いを申し上げます。また、これまでの学会へのご指導とご支援にお礼を申し上げるとともに、今後ともますます活躍されますことと、学会へのご教示、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

アカデミア賞表彰は、「会員の知性、教養及び経験を活用して、教育・学術及び文化の振興に寄与することを目的に設立」された、一般社団法人・全国日本学士会(京都市左京区、<http://academic-soc.jp/>)が展開する事業です。

これは、研究助成、国際交流、講演会・セミナー開催に並ぶ重要活動として位置づけられています。「わが国および世界の文化・社会・国際交流の各分野において著しく貢献された方」を対象にした授賞活動で、1949 年に制定された伝統と歴史のある顕彰制度です。

【文化・社会部門】 氏名:池上惇氏

現職:京都大学名誉教授、一般社団法人文化政策まちづくり大学校代表理事

【授賞理由】

同氏は、社会の貧困と差別排除の構造を解明しスタートラインの平等と文化格差の克服の道を見出すなど、財政学並びに文化経済学分野において数々の優れた業績をあげるとともに、その成果を社会に還元し、地域社会の貴重な文化を文化資本と位置づけ、地方と都市を結ぶ生涯教育と生涯研究の拠点とする「ふるさと創生大学」を立ち上げるなど、地域振興と生涯教育の発展に多大な貢献を果たした。

以上のように、同氏の顕著な業績、並びに高い人格、識見を鑑みて、アカデミア賞を授与するに相応しい人物と認めた。

詳しくは上記全国日本学士会ホームページにアクセスください。なお、当初 2 月 6 日に予定されていた授賞式は 3 月 27 日の 11 時からに延期となっておりますので、ご注意ください。

② 学会誌『国際文化政策』のおしらせ

第 11 号を 2020 年 11 月 30 日に発行しました。皆さんのお手元に届いていると思います。学会誌年 2 回発行体制への第 1 歩として、今年度早々に発行を目指し準備を進めてきましたが、思わぬコロナ騒ぎのために編集作業が大幅に遅れ、年末発行となりました。発行の遅れと編集作業の不便をお詫びします。

しかし『国際文化政策』が学会誌として定着し、国立情報学研究所: CiNii Articles にも発行情報が掲載されることにより、投稿論文が継続して寄せられてきています。第 11 号が発行遅延している間にも論文が集まり、次号第 12 号の編集作業過程に入りました。年度内発行を目指しています。

次々号、第 13 号にも、既に 3 本、投稿論文が寄せられています。今年の夏に発行を目指します。投稿ご希望の方は、**2021 年 4 月末までにお送りください**。論文掲載の際には学会加入が条件となります。投稿規定や執筆要領は各号巻末付録をご参照下さい。

なお学会として編集協力の下、以下の 2 冊が自費出版として発行されています。関心のある方はお問い合わせ下さい。

・ハーヴィ・シャピロ『大樹: イアン・L・マクハーグ教授 自然・環境に生涯を捧げた巨人』（2020 年 11 月 20 日）

・中野健一『日本経営学の成立』（2020 年 12 月 20 日）

③ 文化政策セミナー(3 月)開催のお知らせ

3 月 20 日(土)、3 月 21 日(日)に、文化政策セミナーを WEB 開催いたします。開催テーマは、**学びあい・育ちあいの地域・産業づくり**です。学会員の皆様の研究発表は、3 月 20 日(土)午前中(10-12 時)と 21 日(日)午前中を予定しています(各日 3 人)。1 つの発表につき、35 分(発表 20 分。質疑応答 10 分・まとめ 5 分)を予定しています。発表ご希望の方は、**(tomizawa@bunkaseisaku.jp)**まで、ご連絡ください(**締切は 3 月 5 日です**)。

他の企画として、シンポジウム、研究会、池上先生との懇親会、コーヒーブレイク、近況報告などを予定しています。

3/20 日午後には、「働学研」研究会が開催予定です。内容の 1 つは、書評会です。2020 年に出版された 2 冊を、対象にします。・杉山友成[2020.2]『地域創生と文化創造—人口減少時代に求められる地域経営』晃洋書房、および・富澤公子[2020.6]『長生きがしあわせな島<奄美>』かもがわ出版。著者 2 人(杉山さん、富澤さん)が相互に書評&リプライしあう。それを基に、議論するという企画です。その他も、いろいろと企画しています。

3/21 日の午後のシンポジウムは、学びあい・育ちあいの地域・産業づくりをテーマに開催予定です。1 つは、池上先生の『学習社会の創造』書評会です。2 つめは、長らく事務局を務められてきた白石さんが京都大学経済学研究科に提出された博士論文『財政循環の理論と実践』の発表です。3 つめは、住田町や、イベント会場からの生ライブなどが予定されています。その成果をふまえ、今後、それぞれが、より深く広める機会にできればと思います。**詳しくは、3 月の学会通信でお知らせしますので、多くの会員の皆さんのご参加をお待ちしています。**

両日とも参加費は無料、時間帯は 10:00~12:00(分科会)、13:00~17:00(研究会/シンポジウム)です。**参加方法は、Zoom を利用したオンライン参加**になります。追ってご連絡する URL をクリックしていただくだけで参加いただける、極めて簡単な方法です。奮ってご参加ください。

④ 出版物にかかる広報・普及について新規独自事業

学会員の皆様の近著を紹介し、学会として、大学図書館や公立図書館などへ皆様の研究成果を広める活動を図っていきたくと計画しています。2017 年以降で、ご紹介希望の出版図書がありましたら、下記の事項をご記入の上、メール送信してください(**tomizawa@bunkaseisaku.jp**)。締め切りは、**2 月 25 日厳守**です。

著者	出版書名	出版社(出版年)	図書コード ISBN	定価
内容紹介:3 行以内				

⑤ 研究会のお知らせ 十名直喜

一 働学研(博論・本づくり)研究会のご案内

働学研(博論・本づくり)研究会、略称:働学研を立ち上げて、1 年半になります。市民大学院の成徳学舎にて産声を上げ、基礎経済科学研究所他にも広げてきました。主宰者(十名直喜)の想定を超えて、多彩な研究交流や出会い、自己実現が生まれています。

これを機に、国際文化政策研究教育学会の研究会として、ご理解・ご支援をいただければ有難く存じます。ご参加・ご報告を待ちしています。働学研の趣旨や歩み、近況についてのご紹介は、添付資料をご覧くださいいただければ有難く存じます。

そのほか、4 月から、講義や研究会を企画されている方は、学会通信で広報させていただきますので、学会までお知らせください。また、学会へのご意見、連絡等、下記のアドレスに、よろしくお願いいたします。

発信元 国際文化政策研究教育学会

600-8433 京都市下京区高辻室町西入る繁盛町 290 番地 旧成徳中学校 2 階

電話 075-354-9510 ファックス 075-354-9520

e-mail icpa.j.secretary@gmail.com